



P+ARCHIVEの「P+」には3つのPがもつ意味合いが込められています。

## About P+ARCHIVE

P+ARCHIVEとは

P+ARCHIVE(ピープラスアーカイブ)は、地域・社会と関わる芸術文化活動の創造の背景やプロセスの記録を「整理」「保存」「活用」し、私たち社会の貴重な文化資産として未来へ伝えていくためのアーカイブ活動です。

社会と関わりを強くもつ芸術活動では、作品だけでなく創造の背景やプロセスの記録資料を、様々な人びとが活用できる共有資源＝アーカイブとして活かしていくことが大切だと考えています。活動に関わる文書・写真・言葉などの記録をアーカイブすることで、かたちに残りにくい多様な表現を、関係者だけでなく地域の市民や研究者、次世代に伝えることができます。

一方で、多くの活動では記録を残すことには大変な苦勞が伴い、時にはプロジェクトの終了と共に記録が失われてしまうこともあります。そのために、記録を残すための課題を共有し、有効な手段や情報を発信し、価値ある文化資産を未来に伝えていくアーカイブ活動を支援することを P+ARCHIVEは目指しています。

## 沿革

2010年6月、NPO法人アート&ソサイエティ研究センターとアーツカウンシル東京(旧東京文化発信プロジェクト)の共催事業『P+ARCHIVE(ピープラスアーカイブ)』として開始されました。以後、日本全国で開催されている「地域・社会と関わるアート活動」の記録集や、関連書籍・カタログ・資料などを収集・整理・公開しています。

また、寄託されたアート・プロジェクト資料をアーカイブ化し、そこからプロジェクト型のアート活動に適するアーカイブ手法を開発しています。その成果を全国のアート・プロジェクト団体に発信し、プロジェクトのプロセスや参加者の関わりを記録し残していく支援をおこなっています。

## アーカイブに取り組みたい方へ

私たちは、国内の様々なアート活動のアーカイブ構築を実践してきました。アーカイブ構築は下記のようなプロセスで段階的に取り組んでいきます。個人や組織の活動で残された資料の内容やご予算によって、必要なお支援の内容をご提案いたします。

<b>1</b>	<p><b>アーカイブ調査</b></p> <p>最適なプランニングのために、資料の全体像を明らかにします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 資料の保管状況の現状調査</li> <li>- 調査に基づくアーカイブ構築のロードマップの提案</li> <li>- 資料の内容調査、目録作成</li> </ul>
<b>2</b>	<p><b>保存のための環境整備</b></p> <p>資料を長期的に管理・保存する環境を導入する支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 現状の記録管理の方法を調査、課題点の洗い出し</li> <li>- 業務フローに基づいた記録管理の設計・提案</li> <li>- スタッフ間の情報共有ルール策定を支援</li> </ul>
<b>3</b>	<p><b>進行形の活動の記録管理</b></p> <p>組織内部で効率よく記録を共有し、活動を支える記録管理法をご提案します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 資料の劣化を防ぐ保管環境の整備</li> <li>- ファイリング用品の選定、制作支援</li> <li>- 上記にまつわるコンサルティング</li> </ul>
<b>4</b>	<p><b>アーカイブ資料の活用・発信</b></p> <p>活動の背景を伝える資料の価値を発信し、幅広く活用される公開方法をご提案します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 資料の公開・活用方法</li> <li>- 資料の展示に関する支援</li> <li>- 周年事業の企画、記念冊子の編集制作</li> </ul>
<b>5</b>	<p><b>人材育成のご支援</b></p> <p>アーカイブの取り組みを持続できるように、組織内外の理解向上を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- アーカイブ手法に関するレクチャーの開催</li> <li>- ファイル用品を使用したワークショップの開催</li> <li>- アーカイブ機関への施設訪問・見学の実施</li> </ul>

<https://www.art-society.com/parchive>

さまざまな活動については、ウェブサイトでも発信をしています。



特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センター  
Nonprofit Organization Art & Society Research Center

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-4-702  
TEL | 050-5809-8400 Mail | [info@art-society.com](mailto:info@art-society.com)  
<https://www.art-society.com>

# Projects

## プロジェクト

創造の背景やプロセスを伝える記録資料は、第三者にその活動を伝え、主催者が次の活動に活かすことができる貴重な資産だといえます。私たちは、様々なプロジェクトの現場ごとに実践可能な方法を考案して、アーカイブ構築に取り組んでいます。

## アーカイブセンター

2000年代に入り、日本全国で開催されている多くのプロジェクト型のアート活動をアーカイブするために、国内外におけるアート・プロジェクトやパブリック・アートに関する書籍・カタログ・資料などを収集・整理・公開しています。



収集したアートプロジェクト資料は、データベースサイトを構築・運営し、ウェブからも資料情報を検索することができるようにしています。



アーツ千代田3331の閉館にともない、2023年3月に東京芸術大学 未来創造継承センターへ本資料を寄託しました。

アーツカウンシル東京 ROOM302 アートプロジェクト資料検索サイト SEARCH302



www.art-society.com/search\_302

## アーカイビング実践プロジェクト

アーカイブ構築を目指す様々な団体に協力して、資料整理・目録作成・記録管理などに取り組んでいます。現場にいる方々との対話を重ね、共に実践可能な方法を考えて、資料の活用を目指してプロジェクトを進めていきます。

## アークスプロジェクト・アーカイブ

1994年度からアーティスト・イン・レジデンスに取り組むアークスプロジェクトの資料整理を実施しました。資料の活用に向けた整理・目録化を進め、「アーカイブ・ガイド」の公開を支援しました。



## 葉山芸術祭

2015年度に相模湾・三浦半島アートリンクの事業に協力し、1993年から住民主体で活動続ける葉山芸術祭のドキュメンテーションの編集制作や、アーカイブ講座を実施しました。



## コトブキシーティング株式会社アーカイブズ

1914年創業以来の歴史を伝える資料のアーカイブズ構築に取り組みました。資料を閲覧できるアーカイブコーナーの構想と設計に協力しました。

写真提供：コトブキシーティング株式会社



# Programs & Learning

## 知る・学ぶ

アート活動の社会的意義とその知の蓄積を未来に伝えていく具体的な手法を普及させるために、さまざまな観点から「地域・社会と関わるアート」のアーカイブの意味と価値への認識を高める教育支援活動を実施しています。

## エイ!エイ!オー! (アート・アーカイブ・オンライン)

アート・プロジェクト団体へのオンライン・アンケート調査や、アーカイブのノウハウをまとめた映像コンテンツ制作に取り組みました。

※本企画は、アーツカウンシル東京の人材育成事業 Tokyo Art Research Labの一環で実施。



## アーカイブ・ツアー

様々な機関・施設で取り組まれているアーカイブ活動のバックヤードを、専門家の案内で見学する少人数制ツアーを実施してきました。



## 国際シンポジウム

### 地域・社会と関わる芸術文化活動のアーカイブに関するグローバル・ネットワーキング・フォーラム

アート・アーカイブの分野で、欧米やアジアをリードする米国、ドイツ、韓国、そして日本の専門家が登壇する国際シンポジウムを開催しました。

助成：国際交流基金



# Education & Advocacy

## 教育・アドボカシー

実施したプロジェクトや講座の内容を広く共有するために、冊子として発行しています。また、関連する書籍への寄稿や、さまざまなイベントでの登壇などを通じて、情報発信を行っています。

## 発行物・書籍の紹介



## レクチャー | 図書館総合展オンライン 2020

アートミュージアム・アンヌアーレが主催するトークイベントに登壇し、アート・プロジェクトのアーカイブについてレクチャーをしました。

https://2020.libraryfair.jp/forum/2020/f233-0

